

“ときめき”の笑顔の花 で いっぱい！

◇127人の参加者で大賑わい。

3月15日(土)ときめき交流会をシマブンビルで開催しました。学び合おう！みんなの“今”を全体テーマに127名(組合員48名・職員79名)の仲間が集いました。

◇東日本大震災支援活動に学ぶ。



午前11時から山室実行委員長の開会の挨拶からはじまり、震災から3年目ということで全員で黙祷をしました。続いて支援活動の報告ということで高松さん(灘診療所)から「仮設住宅でのセーフティウォーキング」の取り組み・中嶋洋子さん(アトリエ太陽の子)による絵画を通じた子ども達の心のケアの取り組みのお話があり、改めて支援の継続を全体で誓い合いました。

◇午後のスタート「しあわせ運べるように」

実行委員有志の方でピアノと手話で歌の披露。

そして村上理事長「ケアコミュニティろっこうからの出発」と題して、約1時間、うはらプロジェクト成功に向けての記念講演がありました。





◇さらにヒートアップ

午後の後半は、活動報告と分散交流会をおこないました。活動報告では、

- ① 紙芝居サークルの取り組み
(齋藤秋生さん)
- ② 熊内セラバンドの取り組み
(森本和恵さん)
- ③ うはらプロジェクトの紹介
(戸田邦美さん)
- ④ われらリハビリテーション部
(小坂 PT)

- ⑤ 糖尿病患者さんの療養援助活動について
(灘診療所 濱邊看護師ほか)

- ⑥ 高齢者総合評価を取り組み始めて
(六甲道看護部)

と組合員・職員それぞれ 3 つの演題が披露されました。フロアーの皆さんも熱心に聞いておられ、サークル運営の工夫のノウハウや日頃、スタッフに聞けない質問や相談も出されました。



そして 以上の報告をうけて最後にテーブルごとに分散交流会をおこないました。

干支を交えた自己紹介からはそれぞれ “今” 取り組んでいることを報告しあいました。春のうららかな陽気にも助けられ、各テーブル、リラックスムードで交流できました。



参加者の方からは、「いろいろと聞いて楽しかった。」「久しぶりにときめきました。」など、好評だった様です。

最後に川原職員実行委員長からの閉会挨拶で全体の幕を下ろしました。

(文責 事務局)

